

## 第1回 教育課程編成委員会会議

### 1. 日時

平成27年12月9日（水）16:30～17:40

### 2. 場所

3階 会議室

### 3. 出席者

教育課程編成委員会委員	業界団体	竹本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長 平野愛和学園長
	関係施設	村田 智子	勝山愛和香里ヶ丘幼稚園教諭
	〃	板谷 知佳子	大阪商業大学附属幼稚園教諭
	学校長	三上教道	
	副校長	吉本 春樹	
	学科長	関根 聡子	
	教授	入江 実	
	学務次長	日村 義正	
	書記	中島 忠司	

欠席2名（委任状を受理）

### 4. 内容

#### 1) 学校長挨拶

本会議の趣旨並びに、教育・保育現場の意見を拝聴し、教育課程において取り組み可能な内容については取り組んでいきたい。

#### 2) 現行の教育課程（Ⅰ・Ⅱ部）について説明

①教員免許状並びに保育士資格を取得するには2年以上在学し、最低取得単位数を履修しなければならない。また、取得するに「資質の高い教員・保育者養成」をするためには、本校独自の開設科目単位を設定しており、Ⅰ部では100単位を卒業最低単位とし、別に選択科目として11単位を履修する。

これは、本校の教育目標である「好かれ、役立ち、なくてはならない」人材育成にある。

②中教審（平成18年7月）の答申においても「教員に求められる資質能力」として、教育者としての使命感・教育的愛情・専門的知識・教養・責任感などが求められている。

③そのためには、教科目だけではなく、クラス運営における学生間のコミュニケーション力を身につけ、学校行事においては、企画力・調整力・指導力等の社会性を学ぶ場であるとともに、各行事を通して達成感を味わうようにしている。

行事の内容として、オリエンテーション合宿・新入生歓迎会・教福ミニフェスタ・夏季合宿・全学ハイキング・聖徳フェスタ・送別会・卒業前研修等を実施し、より良い保育者養成として取り組んでいる。

#### 3) 各委員からの意見

①カリキュラムと行事を聞いて、これ以上を求めることは酷であると感じる。一般常識を広く浅くでも良いので盛り込めないか。

- ②保育現場では、保育以外に保護者対応や子育て支援等において多岐にわたる職務内容がある。そのためには、専門的知識や技術と共にコミュニケーション力と応用力が求められている。実務経験を積むことによって応用力を高めることが可能である。また、若い保護者の増加により、高いコミュニケーション能力が必要であるといえる。
- ③学校の授業や行事の知識や経験も大切であるが、実習における体験学習は成果が大である。
- ④以前は、クラブ活動で人間関係を学んだ。これらに代わる体験を諸行事で補っている。
- ⑤素直でない学生は、反発する。好かれることは、人とのコミュニケーションを図る土台である。しっかりと話をすることによって、表情が変化する学生がいる。
- ⑥やる気・生きがいを感じ、自分で感動するには、平素からの積み重ねが大切。そして、目の輝きがある学生を育成するよう努めたい。

## 第2回 教育課程編成委員会会議

### 1. 日時

平成28年2月23日(火) 16:30~17:30

### 2. 場所

3階 会議室

### 3. 出席者

教育課程編成委員会委員	業界団体	竹本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長 平野愛和学園長
	関係施設	村田 智子	勝山愛和香里ヶ丘幼稚園教諭
	〃	板谷 知佳子	大阪商業大学附属幼稚園教諭
	〃	古泓 雅子	生野敬愛保育所主任
	学校長	三上教道	
	副校長	吉本 春樹	
	学科長	関根 聡子	
	教授	入江 実	
	学務次長	日村 義正	
	書記	中島 忠司	
	学校関係者	中川 隆弘	

### 4. 内容

#### 1) 学校長挨拶

教育課程編成委員会の2回目の会議で教育・保育現場の意見を拝聴し、教育課程における取組内容について検討していく。

#### 2) 近年の保護者の傾向として若年層もあるが、前回、育児の相談相手がいないために保育現場の先生に尋ねる事例が多い傾向のお話があり、授業の中で「子育て支援」、「保護者支援」における内容の科目を設置しているが、保育現場における実状についてご意見をお聞きしたい。

- ①保護者から送迎の際に、自分の子どもの様子を聞きたいがために、他の保護者への配慮がなく時間をかけて相談する保護者が増えている。その原因として核家族化やひとり親家庭の増加傾向などによる相談相手不在で、保育者以外にいないことが考えられる。
- ②保育所の場合、初めて0歳児や1歳児を持つ保護者からの相談が多い。  
例えば、ミルクの適量がわからない、夜泣きでどのように対応したら良いか困っているなど。現在は、ネット社会で解らないことの情報収集はするが、個人差による育児は保護者が求めている答えではない。
- ③保育者への相談に対して、悩みを一緒に考えて保護者が求める内容を提案していくようにしている。
- ④近年の傾向として、保護者の子離れができていないと思われる。  
子育て内容についても細部にわたる相談が多く、新卒者一人での対応ではなく必ずベテランと一緒に対応するよう配慮している。
- ⑤園でのカウンセラーとも連携して対応している。
- ⑥在園児への支援だけではなく地域子育て支援事業も実施しており、申し込みが多くすぐに定員に達する状況である。相談内容も対応に苦慮するケースも多々ある。
- ⑦相談能力は、個人差による。能力の高い保育者とそうでない保育者の差異がある。  
教育課程編成において質の高い学生の確保が大切であるが、少子化傾向の中では学生数確保との両面性があり、現在の学生をいかにして質を高めていくかが重要な課題といえる。  
また、時代に合わせて養成していくには、最新の情報収集と学生にどのように伝えていくかを真摯に受け止めたい。

第1回・第2回の各委員会における会議の意見を参考にして、平成28年度にできる限り反映させていくこととした。